



仙台市立仙台青陵中等教育学校 PTA 便り

第1号

令和2年5月吉日発行

発行者:PTA 役員会

(代表 丸山水穂)



青陵サポーター

日頃よりPTA活動へのご支援、ご協力を頂きありがとうございます。
昨年度3月の卒業式をはじめ、今年度に入りまして入学式、始業式等の行事も通常通りにはいかない状態が続いております。
このように先の見通せない状況の中、多くの保護者の方が不安をかかえていらっしゃると思います。
本年度役員会もスタートして間もないところではございますが、現在取り組んでいるPTA活動をお伝えしたく青陵サポーター第1号をメール配信することと致しました。

保護者の皆様

日頃よりPTA活動へのご理解とご協力ありがとうございます。

新年度が始まりましたが、新型コロナウイルスが猛威を振るう中、学校に行くことすらままならず、子どもたちは皆それぞれ不安を抱えながら過ごしていると思います。新しく着任なさった校長先生のお話を聞く機会もなく、子どもたちの中には、一斉メールやお便りを見て「田中充って誰？」と言った子がいたそうです・・・離任式もなかったのですから、そうなりますよね。

個人的には、娘が新6年生なので、新6年生が、青陵最後の春に、満開の桜をみんなで一緒に見ることも、桜の下でのクラス写真を撮ることもできなかったことが残念でなりません。

このような先が見えない状況の中、保護者としても、どうやって子どもたちを支えていけばいいのか等不安な日々だと思います。

このようなときに、何かできないかと思い、今回PTA本部からの情報発信として、青陵サポーターのメルマガ版を作成いたしました。

今回主にお伝えしたいのは、休校が長引く状況の中、新しく着任なさった田中充校長先生（田中充って校長先生ですよ）と若林春日後期教頭先生（私はお名前を見てほっこりしました）、また、渡部健一前期教頭先生と教務部長の藤原弘也先生が中心となって、先生方がご尽力くださり、子どもたちの学習支援や心のケアのため、ICT（PCやスマホ等を利用したコミュニケーション）を利用した遠隔教育を導入してくださったことです。

ICT導入のためには、これまで学校にはなかった全く新しいシステムを構築しなければならず、しかも、4月当初は仙台市には厳しい規制があった中でのことでしたが、様々検討し交渉し膨大な作業もして実現させていただき、心から感謝申し上げたいと思います。なお、ICTの環境が整っていないご家庭についても、様々検討して個別の対応を考えてくださっています。

今後、休校が終了しても直ぐに元通りにはいかないかもしれませんし、将来的にはまた別の災害があるかもしれません。

そういう中でも、青陵の子どもたちが、安心して継続的に教育を受けることができるような環境作りに、PTAとして今後もできる限りの協力をしていきたいと考えておりますので、引き続きご支援の程よろしく願いいたします。

なお、今回のICT導入につきましては、PTAから特段の支出はありませんでした。皆様からご承認いただいているコロナ対策予算につきましては、引き続き有効活用を検討していきたいと考えております。

また、今年度学年委員さんや専門委員さんをお引き受けくださった皆様は、新年度当初の引継会すらできず、集まって活動することのできない困難な状況の中、それぞれ今できる範囲での活動準備を始めてくださっていると、本当にありがとうございます！！

子どもたちの安全安心な学校生活のため今後ともご協力の程よろしく願いいたします。

(PTA代表 丸山 水穂)

令和2年度4月に、仙台市教育局高校教育課から赴任して1か月が過ぎました。新型コロナウイルスの影響で、始業式・入学式を実施することもできないままですが、不思議なことに、仙台青陵の職員の一員として、1年生から6年生まで全ての生徒を、自分の生徒であると思えることができている。きっと、職員室で生徒のことを考え一生懸命に課題や授業の準備をする先生たち、何か学校のためにできることはないかと模索し動いていただいている保護者の皆様の姿を目にすることで、そんな不思議な絆を新任校長の私にも抱かせているのだと感じています。

「自分の時間を大切にして学習をすすめることができたでしょうか。閉じ込められた生活のなかでうまくストレスと付き合いができたでしょうか。睡眠時間を確保し食事をしっかりとることができたでしょうか。／今、日本のみならず世界中が非常に難しい判断に迫られています。感染拡大防止のために自分ができること、または、やらなければならないことは何か、先を見通して準備しなければならないことは何か。自分への問いかけと行動、我々一人ひとりの自覚と責任が問われているのだということをみんなと共有したいと思います。／これは、我々のこれまでの経験を総集し、知恵を出し合うという机の上にとどまらない『学びそのものである』ということに改めて確認しましょう。今こそ、『知性を高め、感性をはぐくみ、意思を鍛える』ことを目標としてきた青陵で学ぶ生徒のみんなの力が試される時です。この状況は先の見通しが必ずしも明らかな、易しい課題ではありません。しかし、明けない夜はありません。力と知恵を合わせて、前をむいて、より良い学校生活をみんなで作っていきましょう。」

これは、始業式で生徒のみなさんに話そうと思い準備していたものです。学校再開後には、その思いを生徒・保護者の皆さんの顔を見てお話ができることを楽しみにしています。

第1回PTA役員会報告

去る4月25日のPTA総会にて役員承認を受け、令和2年度PTA役員会が発足致しました。同日、本校南校舎1階会議室において、第1回PTA役員会を開催致しましたので以下に報告させていただきます。

議事

1) オンライン授業等の環境整備について

学校側より意見

文科省より4/21の段階で積極的にICTの活用をするように通達があった。教育活動として、心のケア、学習保障していく為にネット環境の整備と保護者の理解が必要。

本部より意見

市教委のネットワークとは別に回線があることによって、出来る事が増えるのであれば、PTAとして契約して別回線を準備することは可能。

また、Webを使用することについて、PTAとして保護者の同意を得る等、PTAとして必要な協力はしていきたいと考えている。

2) 各委員会役員選任について

例年年度初めの引継いで各委員会の委員長(運営委員会のメンバーとなる)を決定しているのだが、今年度は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言を受けて開催出来なかったため、委員長を決めることができなかった。

本部から個々に連絡して、順次決めていく。

3) 生徒育成後援会 幹事の推薦

会則より幹事はPTA役員会から推薦されたPTA会員若干名とされるが、現状に鑑みて今年度はP会員からの幹事は選出しない。

T会員からは田中校長と若林教頭を幹事に推薦する。

4) 個人情報漏洩補償制度加入について

昨年度話合いの結果加入することで承認を得ているので加入予定。小田川事務局次長が契約手続きを進める。

以上

本校 ICT 遠隔教育導入について

* G Suite for Education *

数ある無料学習サポートプログラムのうち、本校では Google で提供している G Suite for Education を利用することとなりました。

生徒一人一人に G Suite for Education アカウントを作成すると、次のような学習支援、学習相談の活用ができます。

<活用の一例>

- * 学習課題の出題、提出、採点、返却まですべてオンラインで行う
- * 生徒や端末の管理・セキュリティ設定などオンラインで一括管理
- * メール以外にもチャットやビデオ通話利用で朝礼やホームルームのようなコミュニケーション

各ご家庭での ICT 環境は一律ではありませんが、保護者サイドから出来るだけ全生徒に公平に学習支援等を行って頂けるようお願いを致しました。

環境の整っておられないご家庭に関しては、ルーターの貸し出し等検討して頂きましたが、どこも web 環境設備品は品薄状態にて入手困難とのこと、また、学校としてもご自宅での学習支援が難しい生徒さんについては、登校して（出来れば保護者送迎が望ましい）学習支援を受けるなどの個別対応をして下さるとのことでした。

参考サイト：**G Suite for Education**

https://edu.google.com/intl/ja/products/gsuite-for-education/?modal_active=none

令和2年度各委員会活動について

今年度は新旧引継ぎが中止となったため、各委員会の立ち上げも遅れており、現在本部役員が各委員会始動のサポートをしているところです。

緊急事態宣言発出中でもあり活動に制限がございますが、学校再開時に各委員会のスタートが切れるよう準備を進めて行きたいと考えております。

制服リユース販売について

4月25日のPTA総会に併せ、開催を予定しておりました制服リユース販売が出来なくなりました。卒業生等が届けて下さった制服はPTA室にて保管しておりますが、今後通常通りの学校生活に戻りましたら、リユース用制服の回収、販売についてあらためて連絡をさせて頂きたいと思っております。

日々状況が変わる中ではありますが、生徒達がより良い学校生活を送れるよう保護者として出来ることを引き続き模索し、支援していきたいと思っております。

今後とも本校PTA活動にご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

